

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書 （提出日 R7年10月2日）

事業所名	定期巡回ステーション コピーヌ
事業所の種類	定期巡回随時対応型訪問介護看護
開催日時	令和7年9月25日（木） 10：00～10：25
開催場所	有料老人ホーム コピーヌ なかま
参加者	中間市役所介護保険課：ヨシダ様 新中間病院：片岡様 一般社団法人クレイン：代表理事；中村永俊、理事；岩根久嗣、事業部長；中村直樹 定期巡回ステーション コピーヌ：磯田沙也香、長尾望、安部田優子、日谷真里、末永真知子、深田和枝
利用者状況	事業対象者：11人 要介護1：2人、要介護2：2人、要介護3：2人、要介護4：3人、要介護5：2人
平均年齢	男性：96.5歳、女性：86歳 全体：88.6歳
研修実施状況	R7年4月15日 感染症に関する研修・机上訓練 R7年4月25日 感染（衛生管理）研修 R7年6月12日 BCP（自然災害）研修・机上訓練 R7年6月24日 高齢者の人権・虐待防止研修 R7年7月31日 個人情報保護の研修 R7年9月3日 ハラスメント研修
配布資料	別紙

会議内容	1. ☒ 用状況、活動報告、事例紹介（別添資料参照） 2. ☒ 意見、ご質問 別紙参照
次回開催予定	R8年3月 開催場所：有料老人ホーム コピーヌなかま

【会議内容】 ご意見・ご質問 新中間病院 片岡様：支援経過・支援効果が明確になっている。事例と一緒にケアマネジャー等に提示してもらおうとサービス利用を検討しやすいのではないか。課題も明確になっていてよかったと思う。 理事 岩根：施設入所か在宅での生活を継続できるかのボーダーラインのかたも多いが、定期巡回が関わり、施設入所と変わらないサービスを受けることで在宅生活を継続できている。金銭管理に問題がある等、日常生活支援以外にも介入が必要な方もいるのが現状。また、施設入所には費用の問題もある。経済的な理由で在宅で生活をせざるを得ないかたに、定期巡回を利用することも一つの手だと思う。 過剰な要求を受けることもあり、サービス内容の線引きが難しい。随時訪問が減るよう、できる限り定期の訪問で充足するようなサービス提供体制をケアマネジャーや利用者様・家族様にも理解していただくことが課題。 事業部長 中村：中間市に定期巡回の事業所は一つしかない。地域に貢献できるよう、よりよいサービス提供を行っていきたい。 代表理事 中村：定期巡回のサービスを利用することで生活を救済できるかたが多くいると実感している。この半年間で、サービス利用者の人数に変化なし。利用人数をもっと増やし、貢献していけるようにしたい。
